

リニューアルの  
ポイント

ココが  
変わりました



展示が全面リニューアル

エントランスホールのイメージ



### 駐車場から近い玄関口

入口が駐車場に近い位置に変わり  
便利に。高齢者や足が不自由な人にも  
利用しやすくなります。

### セミナー・ルームの増築

平和学習の場としての環境整備。普  
段は図書閲覧ルームとして、当館が所  
蔵する引き揚げに関する図書をゆっく  
りとご覧いただけます。

### 展示室の全面リニューアル

引き揚げの歴史の流れを体感できる  
演出で、展示表現が大きく変わります。

### 開放的なエントランス

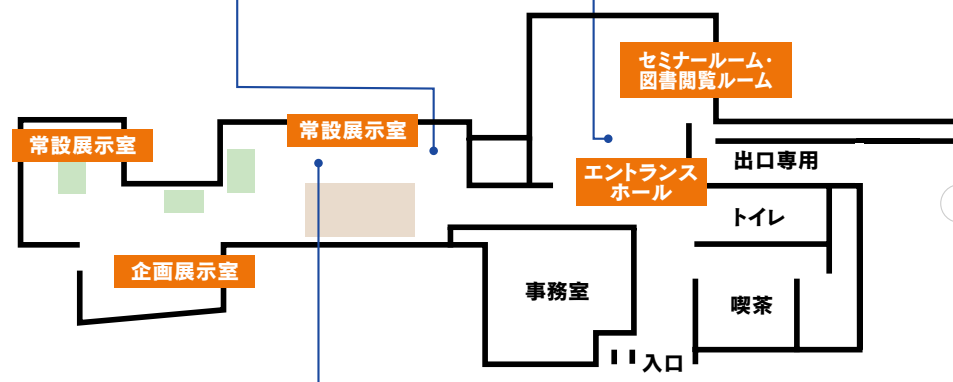
予備知識の少ない若い世代にも、引  
き揚げやユネスコ世界記憶遺産の概要  
などについて理解しやすいコーナーとな  
ります。

### 資料検索システム

常設展示していない資料を検索・表  
示できるシステムを新たに導入。より多  
くの資料に接することが可能となります。

### 栈橋をイメージした空間展示

栈橋に降り立った引揚者の視点に立  
ち、世代を超えて平和や未来への願い  
を共有できるコーナーを設置。



資料の検索システムを導入

#### ◎利用案内

開館時間： 9時～17時(入館は16時30分  
まで)

入館料： 大人300円、学生150円  
(市内在住か在学の学生は無料)

休館日： 毎月第3木曜日

## 舞鶴引揚記念館

〒625-0133 舞鶴市字平1584番地  
☎0773・68・0836 FAX 0773・68・0370  
ホームページ <http://m-hikiage-museum.jp/>



※ 9月27日(日)までは赤れんがパークで特別展示を開催しています。  
※ 9月28日(月)は、開館式典終了後に開館します。

# 9月28日 舞鶴引揚記念館 リニューアルオープン

歴史の記憶を残したい 引揚者の思いを伝えたい

今年、舞鶴に引き揚げ第1船「雲仙丸」が入港してから70年。史実を風化させることなく、戦争を知らない世代への発信力を高め、貴重な資料の保存と活用環境の充実を図るため、昨年12月から全面改修を進めてきました舞鶴引揚記念館が、いよいよ9月28日(月)にリニューアルオープンを迎えます。

戦争を知らない世代も増える中、歴史を知り、より良い未来を創るために役立つ施設として引揚記念館の役割もさらに重要になっていきます。今後、教育旅行の誘致にもさらに努めていきます。

第2次世界大戦後、海外に残された日本人約660万人のうち、昭和20年から13年間にわたり、舞鶴へ引き揚げられた人は66万人。苦難の道のりの末、祖国にたどり着いた引揚者を温かく迎えた舞鶴は、新たな人生の出发点として「戦後復興のふるさと」ともいえる地となりました。

引揚記念館は、引き揚げやシベリア抑留の史実を語り継ぎ、平和の尊さを発信する拠点を舞鶴にとの気運の高まりを受けて、昭和63年に開館。現在、収蔵資料のうち、570点をユネスコ世界記憶遺産へ申請し、本年の10月4日(日)～6日(火)までアラブ首長国連邦の首都アブダビで開催される国際諮問会議で登録の可否が審査される予定となっています。

